

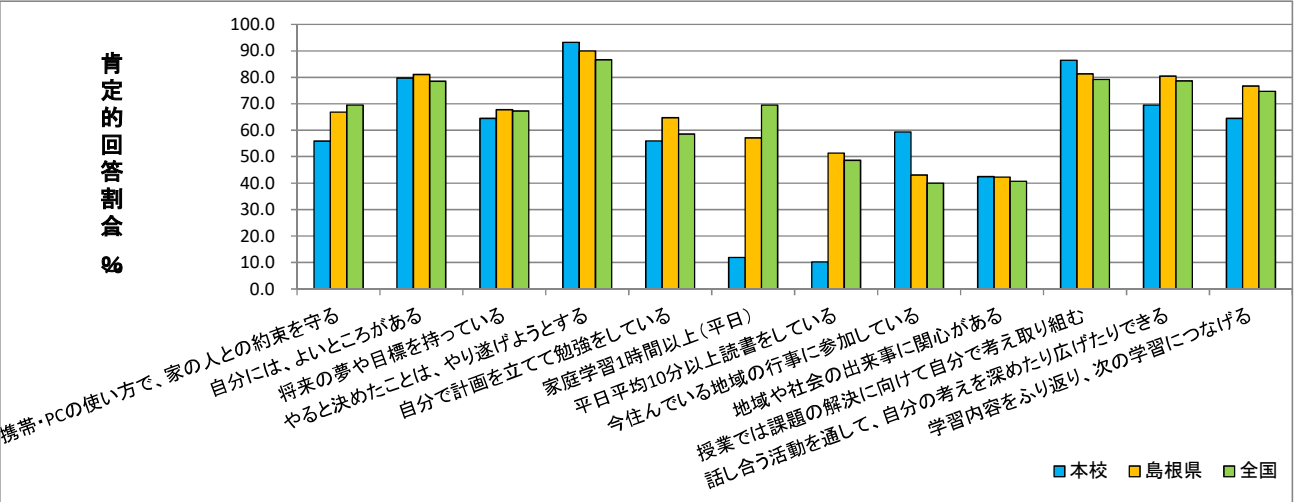
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
国語	○行書の特徴や行書の漢字と仮名の調和についての理解度は比較的高い。 ●表現技法や漢字など言葉に関する知識があまり定着していない。 ●記述式問題の無回答率が高い。	・表現技法や漢字の読み書きについては繰り返し復習する機会をもち、定着を図る。 ・文章の長さや書く題材について書く機会を選択できるなど工夫をして、書くことへの抵抗感をなくしていく。
数学	○方程式や式の計算は、他の問題に比べて正答率がやや高い。 ●記述式の問題の無回答率が高い。 ●図形の問題では、角の大きさ等は求めることができて、その理由の説明ができない。	・計算の反復練習を繰り返し行う。 ・文章題を読み、問題の理解を深める工夫をしたり、数式だけでなく言葉を使った表現を取り入れたりする。
理科	○物理・化学分野において、実験に関わる内容について、正答率が高くなっている。 ●生物分野については、全体的に正答率が低くなっている。	・実物に触れて学習した内容については成果が出ているので、苦手な生物分野においても、できるだけ実物に触れて学習に取り組める環境をつくる。

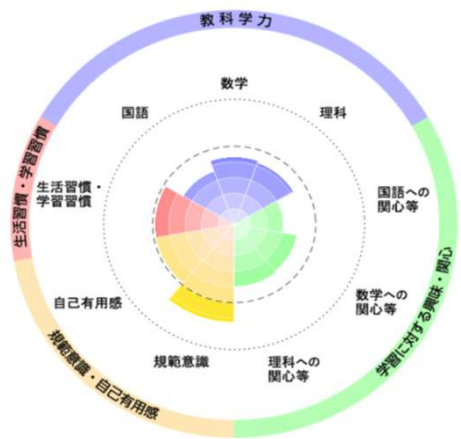
(2)生徒質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
質問紙	○人に親切に誠意をもって接していきたいと思っている。 ○地域活動に参加する生徒が多い。 ●学習は大切で、勉強しなければいけないと考えているが、興味をもって取り組んではない。	・地域コーディネーターの協力を得て、地域と共に生徒を育てる活動を計画する。 ・興味・関心をもって授業に参加できるようにするために、学習の意味を考えさせたりICTを活用したりする授業をする。

(3)生徒質問紙調査結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・学習の大切さには気づいてきたので、自分の中での得意分野を見つけ、少しずつでも興味・関心をもって学習に臨み、進路実現に生かそうとする意欲を高める。
・進路実現に向けて自信がもてるよう、確実に学力を身に付けさせるために、反復学習等の指導を継続して行う。

【受検者数】
59 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。